

KAMEOKA CITY

令和5年度当初予算(案)の概要

～ 主要事項編 ～

2023

令和5年度当初予算(案) 主要事項

事業数 86 事業 < 新規 26事業・充実 34事業・継続 26事業 >

(単位:千円)

1)互いを認め合う、ふれあいのまちづくり	所管課	予算額	ページ
修学旅行における平和学習補助事業 《教育研究会等経費(小学校費)》	新規	学校教育課	1,570 1
東部児童館改修整備事業 《地域振興事業費》	継続	人権啓発課	57,385 1
ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業 《男女共同参画推進経費》	継続	人権啓発課	8,060 2
移住定住促進事業 《移住・定住促進経費》	継続	SDGs創生課	44,104 2
亀岡市・スティルウォーター市スタジアムプロードプログラム実施事業 《国際交流経費》	新規	文化国際課	7,344 3
2)安全で安心して暮らせるまちづくり	所管課	予算額	ページ
日本初！セーフコミュニティ国内認証取得による安全・安心まちづくり推進事業 《セーフコミュニティ推進事業経費》	充実	自治防災課	5,569 4
消防団活動のための消防施設整備事業 《消防施設整備事業費》	充実	自治防災課	20,911 4
Car Shelter野水(仮称)整備事業(指定緊急避難場所の整備) 《災害対策経費》	継続	自治防災課	142,700 5
地域防災リーダー育成事業 《災害対策経費》	継続	自治防災課	1,000 5
京都府総合防災訓練 《総合防災訓練経費》	新規	自治防災課	4,500 6
高齢者運転免許証自主返納支援事業 《交通安全対策経費》	充実	自治防災課	2,000 6

3)子育て・福祉・健康のまちづくり

	所管課	予算額	ページ
こども医療費助成事業～所得制限なし～ 《こども医療費助成経費》	充実	子育て支援課	280,055 7
ヤングケアラー支援体制強化事業 《家庭相談員等設置経費》	新規	子育て支援課	6,096 7
木育ひろば(KIRI no KO)事業 《子ども・子育て支援経費》	充実	子育て支援課	22,880 8
出産・子育て応援事業 《出産・子育て応援給付金支給事業経費》	新規	子育て支援課	119,885 8
こども家庭センター整備事業 《保健センター維持管理経費》	新規	子育て支援課	34,421 9
新生児聴覚検査費用助成事業 《母子保健事業経費》	新規	子育て支援課	2,043 9
第2子以降保育料無償化事業～所得制限なし～ 《保育所運営事務経費／公立保育所等管理運営経費／子ども・子育て支援給付経費／幼稚園管理運営経費》	新規	保育課	120,711 10
おむつの提供・処理の無償化事業 《保育所運営事務経費／施設運営補助経費／公立保育所等施設運営経費／幼稚園管理運営経費》	充実	保育課	55,685 10
子どもたちの豊かな心からだを育む保育事業 《公立保育所等施設運営経費》	充実	保育課	93,722 11
(仮)川と自然のこども園ほづ新園舎建設事業 《保津保育所移転整備事業経費》	新規	保育課	503,821 11
かめおか児童クラブ事業 《かめおか児童クラブ運営経費》	充実	社会教育課	395,900 12
市老人クラブ連合会活動支援体制強化事業 《老人クラブ育成経費》	充実	高齢福祉課	1,744 12
いきいき健幸ポイント制度モデル事業 《保険者機能強化推進事業経費》	充実	高齢福祉課	8,790 13
地域で安心して暮らすための障害者相談支援事業 《地域生活支援事業経費》	充実	障がい福祉課	19,233 13
障害児(者)日常生活用具給付事業 《地域生活支援事業経費》	充実	障がい福祉課	25,353 14
ずっと住みたいまちを目指す「重層的支援体制整備事業」への移行準備事業 《重層的支援体制整備事業経費》	充実	地域福祉課	6,553 14
地域共生社会の実現に向けて「地域福祉計画中間見直し」 《地域福祉計画推進経費》	新規	地域福祉課	4,132 15
市民の健康を守る予防接種事業 《予防接種経費》	充実	健康増進課	323,096 15

4)豊かな学びと文化を育むまちづくり

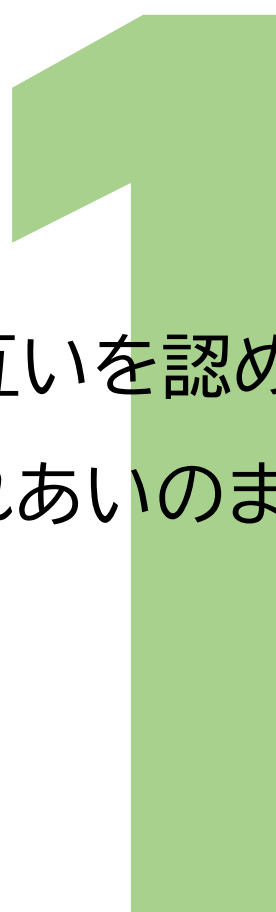
	所 管 課	予 算 額	ページ
育親学園設置推進事業(学校規模適正化) 《事務局事務経費/学校運営経費(小・中学校費)/京都亀岡学校応援事業経費(小・中学校費)/通学安全対策経費(小学校費)/学校建設事業費(小学校費)/情報教育推進経費(中学校費)》	新規	教育総務課 学校教育課 みらい教育 リサーチセンター	41,462 16
学校図書館への新聞配備事業 《事務局事務経費》	新規	学校教育課	711 16
学校司書配置事業 《事務局事務経費》	充実	学校教育課	8,897 17
外国語教育をはじめとする教育環境充実事業 《外国語指導助手設置経費/専科指導推進事業経費/教育研究会等経費(中学校費)》	充実	教育総務課 学校教育課	21,383 17
高校生まなび応援事業～所得制限なし～ 《就学奨励経費》	新規	学校教育課	10,000 18
まなびの機会サポート事業～所得制限なし～ 《不登校対策経費》	新規	学校教育課	4,080 18
確かな学力育成補助事業 《教育研究会等経費(小・中学校費)》	新規	学校教育課	5,253 19
よりよい教育環境をめざす学校施設整備の推進 《学校建設事業費(小・中学校費)》	継続	教育総務課	48,400 19
有機米給食提供事業 《給食センター管理経費》	充実	学校給食センター	2,816 20
授業支援ソフト「ロイロノート」導入事業 《情報教育推進経費(小・中学校費)》	新規	みらい教育 リサーチセンター	6,784 20
ICT教育推進経費 《情報教育推進経費(小・中学校費)》	充実	みらい教育 リサーチセンター	107,907 21
ギャラリーかめおか長寿命化対策事業 《生涯学習推進経費》	継続	市民力推進課	19,510 21
図書館中央館リニューアル事業 《図書館整備事業費》	充実	図書館	334,586 22
東京2020が繋ぐレガシープロジェクト 《生涯スポーツ振興経費》	新規	生涯スポーツ課	2,973 22
京都サンガF.C.と育むシビックプライド醸成プロジェクト 《生涯スポーツ振興経費》	充実	生涯スポーツ課	7,910 23
「かめおか霧の芸術祭」関連事業 《文化振興経費》	継続	文化国際課	21,000 23
デジタル文化資料館運営事業 《デジタル文化資料館運営経費》	新規	文化資料館	10,003 24

5)地球にやさしい環境先進都市づくり		所 管 課	予 算 額	ページ
世界に誇れる環境先進都市推進事業 《環境先進都市推進経費》	充実	環境政策課	101,274	25
地球にやさしい環境先進都市かめおかの環境像を描く事業 《環境にやさしいまちづくり推進経費》	充実	環境政策課	18,412	25
清潔で快適なまちづくり推進事業 《環境保全対策経費》	継続	環境政策課	12,220	26
地球環境子ども村事業 《地球環境子ども村推進経費》	継続	市民力推進課	3,211	26
環境にやさしい公用車(EV)の導入 《公用車経費》	新規	財産管理課	1,575	27
亀岡市ゼロエミッション計画推進事業 《ごみ減量・資源化等推進事業経費》	充実	資源循環推進課	124,437	27
生ごみの堆肥化による資源循環推進事業 《ごみ減量・資源化等推進事業経費》	新規	資源循環推進課	1,488	28
楽しく親しみやすい公園整備事業 《公園緑地整備事業費》	継続	都市整備課	71,750	28
緑豊かな潤いのあるまちづくり事業 ～(仮称)全国都市緑化フェアin京都丹波関連事業～ 《公園緑地整備事業費／緑花推進経費》	新規	都市整備課	31,790	29
「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト 《緑花推進経費》	継続	都市整備課	6,578	29

6)活力あるにぎわいのまちづくり		所 管 課	予 算 額	ページ
「オープンインベーションセンター・亀岡」整備運営事業 《商工業振興対策経費》	継続	商工観光課	120,000	30
サンガスタジアム・インベーション・フィールド実証支援事業 《商工業振興対策経費》	継続	商工観光課	32,096	30
京都亀岡フィルムコミッション事業 《観光推進経費》	新規	商工観光課	2,000	31
トロッコ亀岡駅前ゲートウェイ化推進事業 《観光推進経費》	新規	商工観光課	11,324	31
亀岡光秀まつり事業(第50回) 《観光推進経費》	充実	商工観光課	3,300	32
有機農業推進事業 《有機農業推進事業経費》	充実	農林振興課	15,053	32
亀岡牛ブランド振興事業 《畜産振興関係経費》	充実	農林振興課	36,919	33
林業機械導入支援事業 《林業担い手育成事業経費》	新規	農林振興課	6,000	33
森林資源解析等事業 《森林活用推進事業経費》	新規	農林振興課	20,000	34
豊かな森づくり事業 《森林活用推進事業経費》	充実	農林振興課	25,016	34

7) 快適な生活を支えるまちづくり		所 管 課	予 算 額	ペー ジ
安全・安心で快適な道づくり事業 《道路新設改良事業費／街路事業費》	継続	桂川・道路交通課 土木管理課	387,866	35
バスの魅力再発見！ノーマイカーDay事業他 《バス交通関連経費》	充実	桂川・道路交通課	140,483	35
自然災害からみんなを守る河川災害等防止対策事業 《排水路新設改良事業費／河川改良事業費／河川維持経費》	充実	土木管理課	299,755	36
亀岡駅南周辺地区”歴史的景観を活かした新たなまちの顔づくり”事業 《景観形成事業経費／公園緑地整備事業費／道路新設改良事業費》	継続	都市計画課 都市整備課 桂川・道路交通課 土木管理課	37,855	36
「犬と暮らしやすいまち亀岡」推進事業 《広報経費／動物管理指導経費》	新規	広報プロモーション課 環境政策課	2,861	37
安全なわが家の耐震化促進事業 《安全なわが家の耐震化促進事業費》	継続	建築住宅課	12,060	37
デジタルマーケティング推進事業 《広報経費》	充実	広報プロモーション課	10,416	38
8) 効率的で持続可能な行財政運営		所 管 課	予 算 額	ペー ジ
SDGs未来都市亀岡推進事業 《SDGs推進経費》	充実	SDGs創生課	2,714	39
議会活動経費 《議会活動経費》	継続	議会事務局	21,834	39
DX推進事業 《電算管理経費／情報化推進経費》	充実	情報政策課	8,900	40
マイナンバーカード交付等推進事業 《戸籍住民基本台帳経費》	充実	市民課	40,325	40
ふるさと納税推進事業 《ふるさと力向上経費》	充実	SDGs創生課	4,549,133	41

特別会計		所管課	予算額	ページ
国民健康保険事業(特別会計)	継続	保険医療課	9,870,000	42
休日診療事業(特別会計)	継続	健康増進課	21,500	42
介護保険事業(特別会計)	継続	高齢福祉課	7,653,000	43
後期高齢者医療事業(特別会計)	継続	保険医療課	1,394,100	43
土地取得事業(特別会計)	継続	都市整備課	900	44
水道事業(特別会計)	継続	上下水道部各課	3,245,900	44
下水道事業(特別会計)	継続	上下水道部各課	5,413,600	45
市立病院事業(特別会計)	継続	市立病院	3,865,615	45



互いを認め合う、
ふれあいのまちづくり

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

修学旅行における平和学習補助事業

予算額 1,570千円

《教育研究会等経費(小学校費)》



「世界連邦・非核平和都市」を宣言している本市の小学生が、修学旅行の中で平和学習を行い、将来においても、平和を希求する行動をとる心を醸成することを目的として、平和学習を実施するための経費の一部を補助する。

- 修学旅行における平和学習補助金



学校教育課 TEL0771-25-6786

継続

東部児童館改修整備事業

予算額 57,385千円

(前年度予算額 120,456千円)

《地域振興事業費》

新たな東部児童館を東部文化センター東側敷地へ併設することで、両施設の一体的かつ効率的な利用を促進する。

子育て家庭への支援スペースや子どもの居場所として遊びの場や学習支援のスペースを備えた東部地域における子育ての拠点として、また世代を超えた地域住民の交流の拠点として両施設の更なる利活用を図る。

【事業概要】

東部児童館(新設)

用途	児童館
構造	鉄骨造(平屋建)
延面積	約140㎡
設備	集会室、図書室、授乳室等



人権啓発課 TEL0771-25-5018

継続

ジェンダー平等及び性の多様性の尊重を実現するまちづくり事業

予算額 8,060千円
(前年度予算額 8,457千円)

《男女共同参画推進経費》

すべての人の人権が尊重され、その個性や能力を十分に発揮できるまち、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ジェンダー平等及び性の多様性への理解を広め、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現を進めます。

- パートナーシップ宣誓制度の実施
- LGBTQ+啓発パンフレットの作成・配布【新規】
- LGBTQ+コミュニティスペース及び個別相談会の開催
- 市内小中学校や保育所等へ性の多様性を扱った子ども向け書籍の配布【新規】
- 生理の貧困対策としての生理用ナプキンの無料配布
- 女性の相談室(一般相談・法律相談・フェミニストカウンセリング)の開設
- 「ゆう・あいフォーラム2023」の開催
- 「ゆう・あいセミナー」(男女共同参画講座)の開催
- 男女共同参画情報紙「ゆう・あいネット」の発行



LGBTQ+啓発事業シンボルマーク



人権啓発課 TEL0771-25-5075

継続

移住定住促進事業

予算額 44,104千円
(前年度予算額 41,911千円)

《移住・定住促進経費》

平成12年以降続く緩やかな人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を維持するために、本市への移住希望者の伴走支援、移住定住サイトや各種移住フェア等を通じた情報発信、空き家・空き地バンクのさらなる活用等に取り組む。

- 移住定住促進サイトを活用した情報発信
- 移住フェアやセミナー等への出展
- 企業誘致・起業家移住に係る情報発信
- 市民向け・事業者向け各種セミナーの実施
- 空き家・空き地バンク制度を通じた空き家利活用の促進
- 移住・定住促進施設「離れ」にのうみ運営



SDGs創生課 TEL0771-56-8520

新規

子どもファースト宣言!! 第1弾

亀岡市・スティルウォーター市 スタディアブロードプログラム実施事業

予算額 7,344千円

≪国際交流経費≫



姉妹都市と交流を図ることで国際親善を深める。

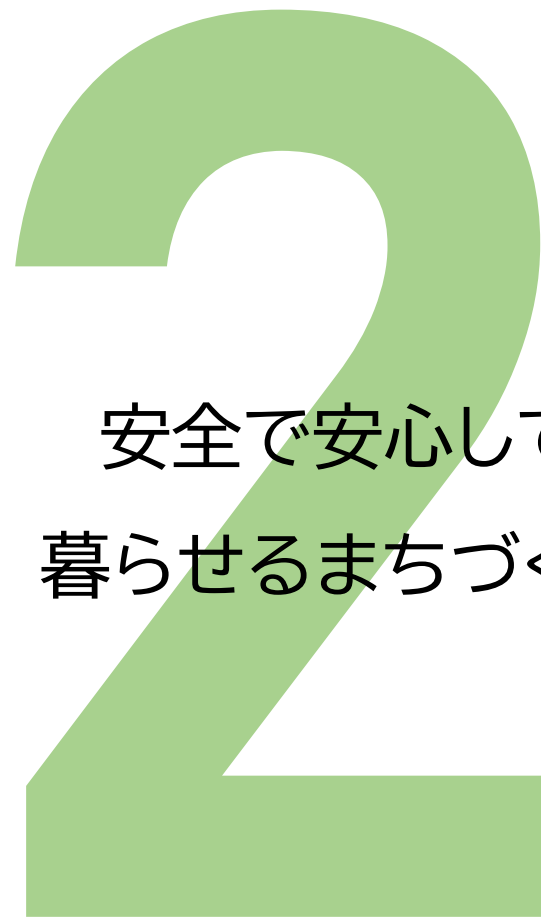
次代を担う子どもたちが異文化への理解を深めるとともに国際的な視野を身につける教育プログラムをスティルウォーター市と実施する。

- 本市の中学生がスティルウォーター市を訪問し、学校での交流やホームステイ等を通じて、姉妹都市への理解や親睦を深めるとともに、異文化を体験できるスタディアブロードプログラムを実施する。



令和元年度蘇州市とのスタディアブロードプログラムの様子

文化国際課 TEL0771-55-9655



安全で安心して
暮らせるまちづくり

充 実

日本初！セーフコミュニティ国内認証取得による 安全・安心まちづくり推進事業

予算額 5,569千円
(前年度予算額 2,255千円)

《セーフコミュニティ推進事業経費》



事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるというセーフコミュニティの理念のもと、行政と地域住民などの主体の協働により、事故やけがなどの外傷予防や安全向上施策を実施することによって、子どもから高齢者まで誰もが安全を実感し、安心して暮らせるまちづくりを進める。また、令和5年度は、安全で安心なまちづくり「セーフコミュニティ」のパイオニアとして、日本初の国内認証取得を目指す。

- 重点課題(防災・交通安全・防犯対策・自殺対策・乳幼児の安全・高齢者の安全・スポーツの安全)に対する外傷予防活動等の実施
- 外傷データの収集・分析と活動効果の測定、活動の見直しによる外傷予防活動の発展・向上
- 取組成果の周知・広報による体感治安や住民満足度の向上
- セーフコミュニティ活動の国内外への情報発信
- セーフコミュニティ国内認証現地審査及び認証式の実施



自治防災課 TEL0771-55-9560

充 実

消防団活動のための消防施設整備事業

予算額 20,911千円
(前年度予算額 11,900千円)

《消防施設整備事業費》



消防団活動を行うために必要な消防ポンプ格納庫、消防団車両及び消防用資機材等の整備充実を行うことで、本市における防火・防災体制の強化を図る。

- 小型動力ポンプ更新(4台)
- 小型動力ポンプ積載車増強(4台)
- 消防ポンプ格納庫建替(1棟・千歳分団)
- 消防用ホース更新



自治防災課 TEL0771-22-0119

継続

Car Shelter野水(仮称)整備事業 (指定緊急避難場所の整備)

予算額 142,700千円
(前年度予算額33,425千円)

《災害対策経費》



自然災害の多発・激甚化を背景に、緊急時の避難に市民の関心が高まっており、特に、近年は感染症予防やプライバシー保護等の観点から、自家用車に避難する「車中避難」も有効な避難方法として着目されている。

車中避難に関しては、エコノミークラス症候群やトイレの確保など、避難者の健康管理が大きな課題であり、専用避難場所の整備により車中避難者の集約化を図り、避難者の状態把握と安全な避難環境を整備する。

また、防災資機材等を保管する備蓄倉庫を整備し、防災拠点施設としての機能の充実を図る。

◇実施計画

- 令和4年度
 - ・事業用地取得(吉川町穴川野水)
 - ・用地整備実施設計
- 令和5年度
 - ・用地整備工事(指定緊急避難場所)
 - ・防災備蓄倉庫・トイレ棟実施設計
- 令和6年度
 - ・建築工事(防災備蓄倉庫・トイレ棟)



自治防災課 Tel.0771-25-5097

継続

地域防災リーダー育成事業

予算額 1,000千円
(前年度予算額 3,708千円)

《災害対策経費》



幅広い年齢層の災害や防災に対する意識を高め、地域における共助を促進するため、各年齢層に応じた防災教育や体験的な防災事業を実施する。

自主防災会を中心とした地域防災活動における即戦力または次世代を担う人材の育成に取り組む。

◇亀岡市防災士養成講座(11月実施予定)

市主催の防災士養成講座を実施し、取得に係る負担軽減を図ることで、意欲のある市民の資格取得を促進する。

◇亀岡市防災士ネットワーク

防災士を組織化し、研修や訓練などを通じて防災士の知識や技能の向上を図り、地域の訓練等に協力できる体制を整備する。

◇こども防災士養成事業(10月実施予定)

災害時に自身の安全を確保する力を育むため、小学生を対象に楽しく学ぶ防災体験イベントを開催する。



自治防災課 Tel.0771-25-5097

新規

京都府総合防災訓練

予算額 4,500千円

《総合防災訓練経費》



京都府総合防災訓練は、府下の市町村を会場に毎年実施されるもので、本市では平成14年度以来の実施となる。災害時における各行政機関等の体制確認及び相互連携並びに市民参加による災害対応訓練を実施する。

- ◇日 時： 令和5年9月3日(日曜日)
- ◇場 所： 保津橋桂川左岸河川敷ほか市内一円
- ◇主 催： 京都府防災会議、亀岡市防災会議、南丹市防災会議
京丹波町防災会議

◇訓練内容：

- ・情報伝達・災害対策本部運用訓練(京都府、亀岡市)
- ・災害想定訓練【現地訓練】(京都府)
- ・避難所開設・運営訓練(亀岡市)
- ・地域拠点訓練(亀岡市内自主防災会等)
- ・各種啓発展示(府市協定先団体・企業等)



自治防災課 TEL0771-25-5097

充実

高齢者運転免許証自主返納支援事業

予算額 2,000千円

(前年度予算額 2,014千円)

《交通安全対策経費》



高齢者の交通事故防止の観点から運転に不安を感じている70歳以上の高齢者の方を対象に、運転免許証の自主返納のきっかけづくりとしての支援事業を実施する。

従来 of 支援内容の選択肢の一つである「市内バス事業者が発行する亀岡市敬老乗車券」を、「交通系ICカード(ICOCAカード)」に切り替え、自主返納支援による交通安全対策を進める。

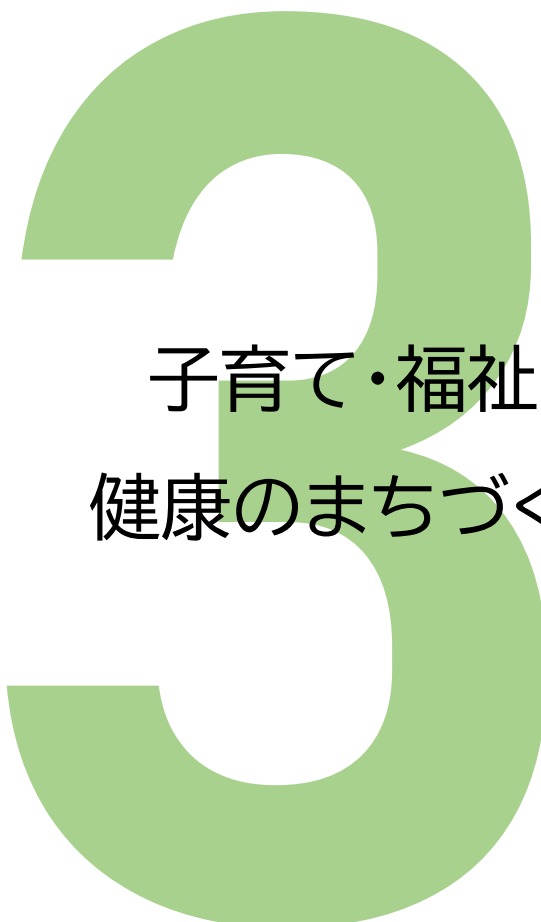
- 「ICOCAカード(カード保証料500円含めて5000円)」の交付
 - 「市内タクシー事業者が発行するタクシー利用カード(5000円分)」の交付
- ※上記2種類の支援のうちいずれかを選択

『申請方法』

- ・警察署等で免許返納後、自治防災課窓口へ申請



自治防災課 TEL0771-25-6788



子育て・福祉・
健康のまちづくり

充実

子どもファースト宣言!! 第1弾

こども医療費助成事業～所得制限なし～

予算額 280,055千円
(前年度予算額 249,298千円)

《こども医療費助成経費》



健やかに子どもを産み育てる子育て支援策の一環として、子どもの医療費を助成することにより、子どもの健康の保持と増進を図るとともに、保護者などの経済的負担の軽減を図る。

- 出生から中学校卒業までの子どもは、入院・通院にかかる医療費(公的医療保険の自己負担額の一部)を1箇月1医療機関200円で受診することができる。
- 令和5年9月診療分からは、助成の対象となる子どもの年齢を18歳までに拡大し、また、入院・通院にかかる医療費(公的医療保険の自己負担額)を無料にする。

					令和5年9月診療分から						
	0歳～2歳	3歳～小学校就学前	小学校卒業まで	中学校卒業まで		0歳～2歳	3歳～小学校就学前	小学校卒業まで	中学校卒業まで	16歳～18歳(拡大)	
入院	自己負担額 1箇月1医療機関 200円					入院	自己負担額 0円				
通院											

子育て支援課 Tel.0771-25-5027

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

ヤングケアラー支援体制強化事業

予算額 6,096千円

《家庭相談員等設置経費》



本来、大人が担うと想定される家事や家族の世話などを日常的に担うことで、安心して健康に生き、教育を受け、子どもらしく過ごすことができない子ども(いわゆる「ヤングケアラー」)への支援体制を強化。

- ヤングケアラー・コーディネーターの配置
- ヤングケアラーに係る実態調査の実施
- ヤングケアラーに係る研修や啓発を実施



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。
障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りしている。
目の見えない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。
アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。
がん・難病・精神疾患など難病の家族の看病をしている。
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーイメージ図 <厚生労働省 子どもが子どもでいられる街に。リーフレットから抜粋>

子育て支援課 Tel.0771-25-5138

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

木育ひろば(KIRI no KO)事業

予算額 22,880千円
(前年度予算額 112,728千円)

《子ども・子育て支援経費》



- 令和5年4月22日(土)オープン予定
- 営業時間
 - ・10時から17時(1日入退場自由)
- 利用概要
 - ・亀岡市民(未就学児世帯)を対象に無料券配布予定
 - ・0歳～2歳までは無料
 - 赤ちゃんが遊べるエリアも完備

サンガスタジアムby KYOCERA内に全天候型屋内遊び場施設木育ひろば「KIRI no KO(キリノコ)」がオープン。
 体を思いっきり動かすことをテーマに、亀岡市を象徴する山や霧、保津川など、亀岡らしさをモチーフにした遊び場。

子育て支援課 Tel.0771-25-5126

新 規

子どもファースト宣言!! 第2弾

出産・子育て応援事業

予算額 119,885千円

《出産・子育て応援給付金支給事業経費》



妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型の支援と経済的な支援を一体的に実施することにより、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てが出来る環境を整備する。

【事業内容】

出産・育児などの見通しを立てるための面談や継続的な情報発信などを通じて、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦などに対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援(出産応援給付金、子育て応援給付金)を一体として実施する。

<経済的支援の実施内容(令和5年度実施分)>

- 出産応援給付金(妊娠届出時):妊婦1人あたり5万円(現金給付)
- 子育て応援給付金(出生届出時):新生児1人あたり5万円(現金給付)

※令和4年4月1日から当該事業開始日までに出産された人は、出産応援給付金、子育て応援給付金を一括して10万円支給。



子育て支援課 Tel.0771-25-5027

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

こども家庭センター整備事業

予算額 34,421千円

《保健センター維持管理経費》

妊産婦、子育て世帯、子どもの誰一人取り残すことなく、相談を受け適切な支援に繋ぐために、母子保健の相談機関(子育て世代包括支援センター)と児童福祉の相談機関(子ども家庭総合支援拠点)、双方のより一層の連携強化を図るため、令和6年度に「こども家庭センター」を開設する。

【事業概要】

○令和5年度 保健センターBCome+ 執務室の拡張及び改修



新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

新生児聴覚検査費用助成事業

予算額 2,043千円

《母子保健事業経費》

聴覚検査は早期に発見し、適切な支援を行うことで、聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限に抑えることができる。このため、全ての新生児が新生児聴覚検査を受けやすくするための経済的負担の軽減と、聴覚障害の早期発見・早期療育につなげるための医療機関との情報連携・支援強化を図る。

- 新生児聴覚検査費用の助成 *検査費用の助成は、1人1回まで
自動ABR, ABR検査は、1回4,020円
OAE検査は、1回1,500円
- 各検査医療機関での新生児聴覚検査に異常が見られたケースを早期から把握し、必要な支援を開始する。



新生児聴覚検査イメージ図
<京都市リーフレットから抜粋>

子育て支援課 Tel.0771-24-5016

新規

子どもファースト宣言!! 第1弾

第2子以降保育料無償化事業～所得制限なし～ 予算額 120,711千円

※予算額は歳出の増と歳入の減の合計額

≪保育所運営事務経費／公立保育所等管理運営経費／
子ども・子育て支援給付経費／幼稚園管理運営経費≫



保育所(園)、認定こども園、幼稚園及び企業主導型保育施設に通う亀岡市在住の第2子以降の保育料を所得制限、及びきょうだいの年齢制限なく無償化し、保護者の子育てに係る経済的な負担の軽減を図る。

【無償化する保育料】

- ①公立・民間 保育所(園)・こども園
 - 保育料
 - 預かり保育料
 - 延長保育料
 - 休日保育料
- ②公立・民間 幼稚園
 - 預かり保育料
- ③企業主導型保育施設
 - 保育料



保育課 Tel.0771-25-5028

充実

子どもファースト宣言!! 第1弾

おむつの提供・処理の無償化事業

予算額 55,685千円

(前年度予算額 16,217千円)

≪保育所運営事務経費／施設運営補助経費／
公立保育所等施設運営経費／幼稚園管理運営経費≫



登園時の紙おむつの持参と使用済み紙おむつの持ち帰りをなくすとともに、環境への負担に配慮する観点から、布おむつを使用する園に対して利用料を助成することで、保護者の負担軽減や衛生面の向上など、次代を担う子どもを安心して産み育てることができる環境を整備し、保育士等の作業負担を軽減することで、教育・保育の質の向上を図る。

対象施設

- 公立保育所・認定こども園 8施設
- 私立保育園・認定こども園 13施設(分園含む)
- 公立幼稚園 1施設
- 私立幼稚園 4施設
- 企業主導型保育施設 4施設



保育課 Tel.0771-25-5028

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

子どもたちの豊かな心とからだを育む
保育事業

予算額 93,722千円

(前年度予算額 81,353千円)

《公立保育所等施設運営経費》



公立保育所・こども園における児童の安全を確保するとともに、亀岡型自然保育の実施や有機米・有機野菜を用いた給食を提供するなど、質の高い保育・教育を実施し、児童の豊かな心とからだを育む。

- 公立保育所・認定こども園の運営
- パソコン増設による保育士の事務環境の改善
- 保育所等の園庭遊具の修繕・更新
- 有機米・有機野菜を用いたかめまる給食の提供
- 亀岡型自然保育の推進
(森の自然こども園東本梅・本梅こども園・別院保育所・保津保育所)



保育課 Tel.0771-25-5028

新 規

子どもファースト宣言!! 第1弾

(仮)川と自然のこども園ほづ新園舎建設事業

予算額 503,821千円

《保津保育所移転整備事業経費》



施設耐震化や在園児の安全性確保のために、保津文化センター南側の市有地に保津保育所園舎の新築移転を実施する。

新施設では、新たに0歳児の保育を実施するとともに、各年齢の定員を増やし、保育ニーズの拡大に対応する。

また、一時保育を実施するなど、子育て支援の充実を図り、地域の子育て支援センター的役割を担う。



<新施設イメージ>

<計画>

- 着工:令和5年6月末 ○完成:令和6年8月予定
- 定員:90人 ○建築物:RC造 2階建て 延床面積1,600㎡
- 施設:乳児室3室(0、1、2歳)、保育室3室(3、4、5歳)、
一時保育室、保健室、調理室、遊戯室、職員室等

保育課 Tel.0771-25-5028

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

かめおか児童クラブ事業

予算額 395,900千円

(前年度予算額 193,990千円)

《かめおか児童クラブ運営経費》



令和5年4月から、放課後児童健全育成事業は、新たに「かめおか児童クラブ」としてスタートする。保護者が就労等で不在の間も、適切な環境の中で、子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、児童の健全育成と子育て環境の向上を図り、「子育てに優しいまち」を目指す。



- 1家庭2人目以降の負担金無償化～所得制限なし～
- 平日午後7時までの開設
- 土・日・祝日の3箇所開設
- 一時利用の実施
- 事業拡大に伴うシステム改修
- かめおか児童クラブの環境整備 等

社会教育課 Tel.0771-25-5199

充 実

市老人クラブ連合会活動支援体制強化事業

予算額 1,744千円

(前年度予算額 773千円)

《老人クラブ育成経費》



仲間づくりを通して、生きがいと健康づくりのための活動を高齢者が主体となって推進する老人クラブの活動を支援することで、地域高齢者の豊かな社会活動と健康の増進を促進する。

市内に会員数約1,800人を有する市老人クラブ連合会に対して支援を行うことで、市老人クラブ連合会の持つ、会のリーダーシップを促進し、各単位老人クラブ活動の活性化を図る。

- 市老人クラブ連合会運営支援
(市老連の運営・活動経費補助)
- 市老人クラブ連合会健康づくり事業支援
(ウォーキング大会、ワナゲ大会、健康セミナー等の補助)
- 市老人クラブ連合会活動支援体制強化事業 **【新規】**
(活動推進委員の配置事業等の補助)



高齢福祉課 Tel.0771-25-5032

充 実

いきいき健幸ポイント制度モデル事業

予算額 8,790千円
(前年度予算額 10,000千円)

《保険者機能強化推進事業経費》



高齢者が地域サロンの運営補助等のボランティアを行った時に、ポイントを付与し換金等を行う「いきいき健幸ポイント制度」モデル事業を実施し、事業の効果検証を行う。

高齢者の社会参加活動を活性化させ、住み慣れた地域での高齢者の生活の質の向上を目指す。

【令和5年度実施内容】

- いきいき健幸ポイント制度モデル事業の実施
(参加者約100人、活動受入団体20団体程度で実施)



高齢福祉課 Tel.0771-25-5127

充 実

地域で安心して暮らすための 障害者相談支援事業

予算額 19,233千円
(前年度予算額 15,815千円)

《地域生活支援事業経費》



市内2箇所の事業所に「障害者生活支援事業」を委託し、障がい児・者やその家族に身近な相談窓口を設置することで、障がいのある人たちが、安心して暮らし続けられるよう支援する。

- 在宅福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用するための支援
- 地域で生活する力を高めるための支援
- 同じような立場や悩みを抱えた人同士のカウンセリング
- 専門機関との連携
- 障がい者の権利の擁護のために必要な支援
- その他、障がい者の自立と社会参加促進のための支援



障がい福祉課 Tel.0771-25-5189

充 実

障害児(者)日常生活用具給付事業

予算額 25,353千円
(前年度予算額25,148千円)

《地域生活支援事業経費》

障がいゆえに必要な物品で、日常生活や介護が容易となるような用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に寄与することを目的とする。

給付対象機器のうち、特に価格高騰などの影響が大きい情報・意思疎通支援用具「視覚障害者用拡大読書器」の給付上限額の見直し。

上限額198,000円→239,000円

※視覚障害者用拡大読書器…読みたいものの上に置くことで、簡単に拡大された画像(文字等)をモニターに映し出せるもの

「視覚障害者用拡大読書器」



障がい福祉課 Tel.0771-25-5189

充 実

ずっと住みたいまちを目指す「重層的支援体制整備事業」への移行準備事業

予算額 6,553千円
(前年度予算額 6,514千円)

《重層的支援体制整備事業経費》



複雑・複合的な課題を抱える人が増加するなか、子ども、障がい、高齢、生活困窮等の各福祉分野の機関が連携して支援する体制を構築することにより、課題を抱える人に寄り添った長期的、継続的な支援を行う。

重層的支援体制整備事業…「断らない相談支援」「課題を抱える人の社会参加支援」「支えあいや交流、活躍の場を生み出すための地域づくりに向けた支援」を一体的に行う。令和6年度本格実施予定。

- 「福祉なんでも相談窓口」による相談支援体制の充実
- 重層的支援体制の構築に向けた支援会議等の実施
- 自ら支援につながる人が難しい人へのアウトリーチ等を通じた継続的な支援
- 社会とのつながりづくりに向けた居場所づくり等や参加支援



地域福祉課 Tel.0771-25-5029

新規

地域共生社会の実現に向けて 「地域福祉計画中間見直し」

予算額 4,132千円

《地域福祉計画推進経費》



第3期亀岡市地域福祉計画は、子ども、障がい、高齢などの各福祉計画との整合性を図りつつ各福祉分野を横断的につなぎ、共通する課題の解決を目指す計画として位置づけている。

令和3年度から令和7年度までの5年間の計画期間としており、中間年にあたる令和5年度に中間見直しを実施する。

- 絶えず変化する福祉に関する課題や市民からのニーズに対応するため、計画内容や目標の中間見直しを実施
- 令和6年度本格実施予定の「重層的支援体制整備事業実施計画」の盛り込み



地域福祉課 Tel.0771-25-5029

充実

市民の健康を守る予防接種事業

予算額 323,096千円

(前年度予算額 550,007千円)

《予防接種経費》



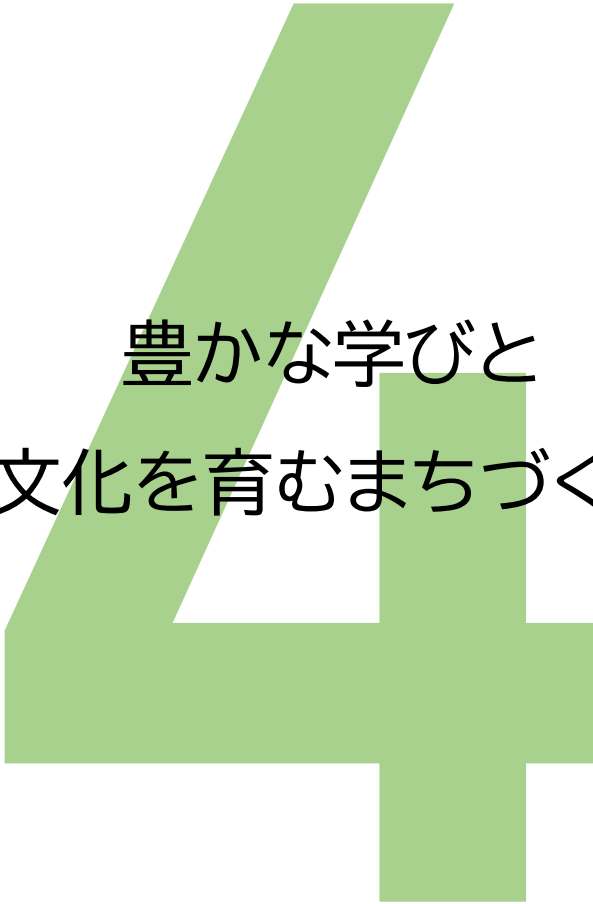
予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防し、市民の健康増進に資するため、各種予防接種を実施する。

令和5年4月から定期接種化されるHPV(ヒトパピローマウイルス感染症)9価ワクチンの接種機会を提供する。

また、積極的勧奨を差し控えていた間に公費で接種できる機会を逃し、自費で接種した人への償還払(9価ワクチンを除く)を実施する。



健康増進課 Tel.0771-25-5004



豊かな学びと
文化を育むまちづくり

新規

子どもファースト宣言!! 第1弾

育親学園設置推進事業(学校規模適正化)

予算額 41,462千円

≪事務局事務経費／学校運営経費(小・中学校費)

京都亀岡学校応援事業経費(小・中学校費)／通学安全対策経費(小学校費)

学校建設事業費(小学校費)／情報教育推進経費(中学校費)≫



亀岡市学校規模適正化基本方針により、地域の皆様方と新しい学校づくりとして取組を進めている「亀岡市立育親学園」の設置について、現育親中学校校舎を活用して令和6年4月1日の開校を目指し、より良い教育環境における児童生徒の持続的・安定的な教育の推進を実現する。



- 義務教育学校開校に向けた施設整備
- 新たな学校の校歌校章等の制作
- 児童生徒のスムーズな移行に向けた学校間での交流事業の実施
- 児童生徒や保護者のためのスクールカウンセラーの配置
- 本梅小学校、畑野小学校、青野小学校からの備品等移転の実施 等

教育総務課 Tel0771-25-5052
 学校教育課 Tel0771-25-5053
 みらい教育リサーチセンター Tel0771-26-3916

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

学校図書館への新聞配備事業

予算額 711千円

≪事務局事務経費≫



学校図書館に新聞を配備し活用することで、児童生徒が正しい情報にふれ、情報を取捨選択し、情報活用能力を育み、読解力向上や、主権者教育の充実につなげる。

- 新たに全ての学校図書館に新聞を配備



学校教育課 Tel0771-25-6786

充 実

子どもファースト宣言!! 第2弾

学校司書配置事業

予算額 8,897千円
(前年度予算額 5,035千円)

《事務局事務経費》



各学校図書館に司書を配置し、子どもたちの読書への興味を高めるとともに、授業支援等を行い、子どもたちの「学び」を支える。

● 学校司書の配置(5名) ※2名増員

- ▷ 児童生徒の学習に関わる図書資料の準備
- ▷ 読書相談
- ▷ 学校図書館情報の発信
- ▷ 図書資料の整理



学校教育課 Tel.0771-25-6786

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾
第2弾

外国語教育をはじめとする教育環境充実事業

予算額 21,383千円
(前年度予算額 17,063千円)

《外国語指導助手設置経費/専科指導推進事業経費/教育研究会等経費(中学校費)》



外国語指導助手の派遣など、外国の言語、歴史、文化にふれる機会を通じて、諸外国・地域の文化や伝統の理解・尊重、国際理解教育を推進するとともに、実用英語技能検定の受検や、英語教員の英語力・指導力向上研修への参加により、本市の児童生徒の英語力・学習意欲の向上を図り、グローバルな人材を育成する。

- 外国語指導助手(ALT)の派遣【継続】
外国語指導助手(ALT)4名を、全小・中・義務教育学校へ派遣
- 外国語教育研修補助金【新規】
オクラホマ州立大学で実施される英語力及び指導力の向上研修プログラムへの参加
- 実用英語技能検定料補助金【充実】
従来の中学校3年生(義務教育学校9年生)に加え、中学校2年生(義務教育学校8年生)にも拡大し、実用英語技能検定料を支援



教育総務課 Tel.0771-25-5052
学校教育課 Tel.0771-25-6786

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

高校生まなび応援事業～所得制限なし～

予算額 10,000千円

《就学奨励経費》

より多くの高校生が安心して学びに専念できるよう、国で実施されている高等学校等就学支援金の対象となっていない家庭の2人目以降の高校生に対して、公立高校授業料相当分を支給する。

- 主な要件
 - ▷国で実施されている高等学校等就学支援金の対象となっていない家庭
 - ▷高校生、大学生等を2人以上扶養している家庭
- 支給対象・支給額
 - ▷扶養している大学生等を含めて2人目以降となる高校生の授業料が対象
 - ▷公立高校授業料相当分
月額9,900円(年額118,800円)を上限



学校教育課 Tel.0771-25-5053

新規

子どもファースト宣言!! 第2弾

まなびの機会サポート事業～所得制限なし～

予算額 4,080千円

《不登校対策経費》

学校に行きにくい児童生徒の学びの機会を確保するとともに、社会的自立を支援するため、市が認定したフリースクールを利用するにあたり、保護者が負担する授業料を補助する。

- 月10,000円を上限に補助
- 市が認定したフリースクールの授業料が対象



学校教育課 Tel.0771-25-5053

新規

子どもファースト宣言 第2弾

確かな学力育成補助事業

予算額 5,253千円

《教育研究会等経費(小・中学校費)》



児童生徒の確かな学力を育成するため、9年間の学力調査結果を紐づけし、系統だてた、一人ひとりの「個別最適な学び」を推進するため、亀岡市確かな学力育成会議(小学校長会長・中学校長会長等で構成)が独自に実施する学力調査(確かな学力育成パスポート)にかかる費用に対して、保護者負担相当分を補助する。

- 確かな学力育成補助金



学校教育課 TEL0771-25-6786

継続

よりよい教育環境をめざす 学校施設整備の推進

予算額 48,400千円
(前年度予算額 572,064千円)

《学校建設事業費(小・中学校費)》



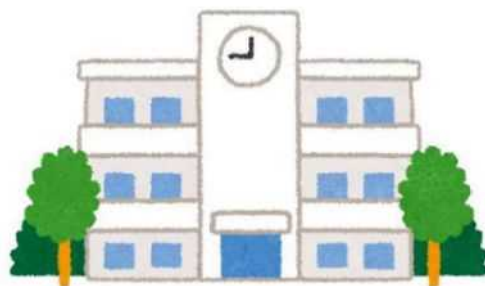
市立学校施設において、長寿命化計画に基づき、長寿命化改修工事実施設計やトイレ改修工事実施設計、また校舎屋上防水改修工事等を推進し、児童生徒にとって安全安心でよりよい教育環境を整備する。

【設計業務委託】

- 保津小学校長寿命化改修工事実施設計
- 西別院小学校校舎屋上防水改修工事実施設計
- 南桑中学校トイレ洋式化改修工事実施設計

【工事請負】

- 蕨田野小学校校舎屋上防水改修工事



教育総務課 TEL0771-25-6766

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

有機米給食提供事業

予算額 2,816千円
(前年度予算額 2,075千円)

《給食センター管理経費》



学校給食で提供する米飯給食において、有機米米飯を提供することを通して、児童の環境や農作物、食への関心を高めるとともに、食育を推進し、持続可能かつ環境にやさしい地域づくりへの参画及び行動につなげる。

- 令和4年度から有機米給食を実施しているモデル校に加え、16小学校及び1義務教育学校の全校において、学校給食で有機米米飯を年間20回程度提供する。



学校給食センター TEL0771-24-3833

新 規

子どもファースト宣言!! 第1弾

授業支援ソフト「ロイロノート」導入事業

予算額 6,784千円

《情報教育推進経費(小・中学校費)》



学習指導要領に基づく「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、授業支援ソフト「ロイロノート」を導入し、誰もが学びの主人公となり、仲間と協働して考えあい、教科のねらいに沿った学びを深め、児童生徒の思考力、判断力、表現力の向上につなげる。

- 児童生徒・教員全員のタブレットへ授業支援ソフト「ロイロノート」を導入
 - ⇒より多くの児童生徒が発表することができる
 - ⇒回答を共有し、協働して考えあうことができる
 - ⇒思考の可視化により、深い学びに繋げることができる
 - ⇒児童生徒の思考力、判断力、表現力の向上につなげる



みらい教育リサーチセンター TEL0771-26-3916

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

予算額 107,907千円

(前年度予算額 94,648千円)

ICT教育推進経費

《情報教育推進経費(小・中学校費)》



日常的にICT機器を活用する中で、児童生徒が学習に対して興味・関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲を高め、多様な児童生徒の力を引き出す授業の推進を図る。

また、タブレット端末の更新、インターネット機器の保守・整備を行う。

- GIGAスクール構想のもと整備した、タブレット端末、ネットワーク機器の維持管理業務
- インターネット接続回線使用料
- ICT支援員業務委託
- タブレット端末購入費
(中学校卒業時にタブレット譲与)



みらい教育リサーチセンター
Tel.0771-26-3916

継 続

ガレリアかめおか長寿命化対策事業

予算額 19,510千円

(前年度予算額 34,924千円)

《生涯学習推進経費》



生涯学習活動の拠点施設であるガレリアかめおかの長寿命化を図り、安全・安心な学習活動の場の提供を行うことにより、生涯学習のまちづくりを推進する。

- ガレリアかめおか長寿命化改修工事
 - 二酸化炭素消火設備改修
 - 機械室(受変電室・EV機械室)空調設備改修
- など



市民力推進課 Tel.0771-25-5002

充 実

子どもファースト宣言!! 第1弾

図書館中央館リニューアル事業

予算額 334,586千円
(前年度予算額 8,000千円)

《図書館整備事業費》



図書館中央館の来館者ゾーンを「木の温もりが感じられる過ごしやすい空間」に再生し、市民が快適に滞在できるように館内全面リニューアルを行うことで、市民の生涯学習と教育・文化の拠点にふさわしい、魅力ある読書環境づくりを行う。

- 閲覧席の増加 3階テラス席などを新設
- 各階に給水スポットを設置
- 各階のトイレの全面改修
- 放送設備・公衆Wi-Fiの設置
- 照明のLED化
- デザインを工夫した書棚・カーテンの設置



木の質感を生かした読書空間(1階イメージ図)

図書館 Tel.0771-24-4710

新 規

東京2020が繋ぐレガシープロジェクト

予算額 2,973千円

《生涯スポーツ振興経費》



2021年に開催された、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、本市出身の荒賀龍太郎氏が空手競技でメダルを獲得され、亀岡市に大きな希望や感動を与えた。また、オーストリア共和国とホストタウン協定を結び、空手選手団の事前合宿地として、市民との交流を図ってきた。

これらの実績を活かし、大会後の継続したスポーツ振興や国際交流に取り組み、オリンピック・パラリンピックのレガシーを繋いでいく。

- 空手競技用備品導入
- ホストタウンレガシー事業
(オーストリア共和国空手選手交流事業への招聘)



写真提供:空手道マガジン/JKFan

生涯スポーツ課 Tel.0771-25-5055

充 実

京都サンガF.C.と育む シビックプライド醸成プロジェクト

予算額 7,910千円
(前年度予算額 3,000千円)

《生涯スポーツ振興経費》



2023シーズンもJリーグの最高峰である「J1」での活躍に期待が高まる京都サンガF.C.とともに、ホームスタジアムのあるまちとして、まちの活性化を目指し、市民の「わがまち」への愛着や誇りとなるシビックプライドの醸成を図る。

- 市内小学生サンガスタジアムツアーの実施
- サンガ応援交流事業補助金【新規】 **子どもファースト堂** 第1弾
- ホームタウンデーの実施
- わがまちサンガ応援隊活動
- サンガ応援のぼり、おもてなし販わり看板等作成 等



生涯スポーツ課 TEL0771-25-5055

継 続

「かめおか霧の芸術祭」関連事業

予算額 21,000千円
(前年度予算額 21,000千円)

《文化振興経費》



「かめおか霧の芸術祭」をプラットフォームに亀岡ゆかりの多くの芸術家と本市の文化芸術施策を協働で推進するとともに、環境や農業、商工観光、SDGsなど各種施策を文化芸術の力を活かして改革・改善することで、より一層ユニークで魅力あるまちづくりを推進する。

- かめおか霧の芸術祭の拠点「KIRICAFE」やSDGs推進拠点「開かれたアトリエ」などを活用しながら、年間を通じて展覧会やワークショップ、マルシェなど多彩な企画を実施する。
- 農業や環境、SDGsなど各分野の事業者、大学など多様な人・組織と連携して地域課題の解決やまちの魅力発信を行う。



こどもみんげいプロジェクトの様子

文化国際課 TEL0771-55-9655

新規

デジタル文化資料館運営事業

予算額 10,003千円

≪デジタル文化資料館運営経費≫



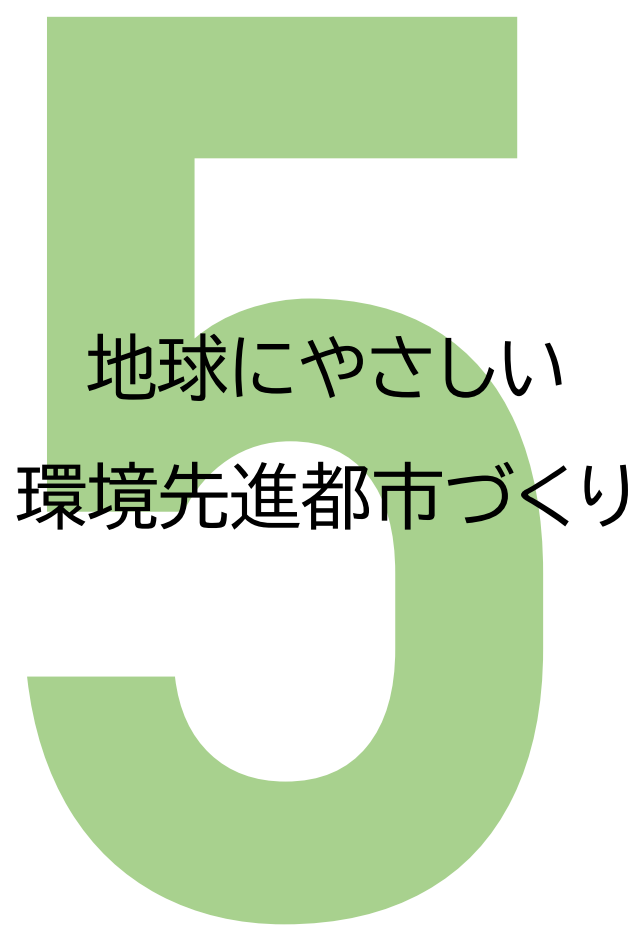
歴史的資源の保護と、後世への恒久的な継承を目的として、文化財のデジタルデータ化に取り組む。また、ホームページやメタバースによる体験を通して、本市の歴史文化を地域内外に広く発信し、認知度の向上や観光誘客に繋げ、サステナブルな地方創生に貢献する。

- 文化財の保護と活用に向けたデジタルデータ化の推進
- 文化資料館ホームページの運用
- 歴史や文化を体験できるメタバース空間の提供



※画像は開発中のものにつき実際のメタバース空間とは異なる場合があります

文化資料館 TEL0771-22-0599



地球にやさしい
環境先進都市づくり

充実

世界に誇れる環境先進都市推進事業

予算額 101,274千円
(前年度予算額 120,365千円)

《環境先進都市推進事業経費》

かめおかプラスチックごみゼロ宣言の目標達成に向けて、次の環境施策の展開による持続可能なエコシステムの創出と地域ブランドの確立を目指し、地域経済の活性化と市民の郷土愛(シビックプライド)の醸成に繋げることで、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現を目指す。

- プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の運用
- 環境先進都市に向けた取組の啓発事業(リバーフレンドリー・レストラン、給水スポットの普及拡大、エコプロ2023への出展、冊子の作成等)
- 環境政策情報発信・交流拠点施設整備事業(令和6年3月完成予定)
(場所:保津町下中島59番1)
- リユース食器利用促進補助金



環境政策課 Tel.0771-25-5024

充実

地球にやさしい環境先進都市かめおかの環境像を描く事業

予算額 18,412千円
(前年度予算額 18,612千円)

《環境にやさしいまちづくり推進経費》

再生可能エネルギー導入戦略を包含した「亀岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域の豊かな自然環境の保全を図るとともに、地域と共生した再生可能エネルギーの積極的な導入を推進する「ポジティブゾーニング(再生可能エネルギーの導入促進区域)」の設定に向け取り組む。また、「かめおか脱炭素宣言」による脱炭素社会の実現に向け、市内の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、地球にやさしいまちづくりを推進する。

- 亀岡市環境審議会開催
- 亀岡市環境基本計画推進会議開催
- 再生可能エネルギー導入促進エリア設定業務【新規】
- 亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業助成



環境政策課 Tel.0771-25-5023

継続

清潔で快適なまちづくり推進事業

予算額 12,220千円

(前年度予算額 17,265千円)

《環境保全対策経費》



ポイ捨てや飼い犬等のフンの放置を無くし、良好な生活環境を確保するとともに、清潔で快適なまちづくりを進める。

- 亀岡市ポイ捨て等禁止条例に基づく事業経費
(ポイ捨て禁止指導員報酬・手当)
- 喫煙ブースの維持管理に係る経費
(保険、機器点検、清掃、電気代)
- エコウォーカー活動に係る経費
(エコウォーカーへの報償品費、ボランティア保険料)
- 河川水質検査及び自動車騒音測定業務委託料
- 不法投棄パトロール



環境政策課 Tel.0771-25-5024

継続

地球環境子ども村事業

予算額 3,211千円

(前年度予算額 3,167千円)

《地球環境子ども村推進経費》



亀岡の豊かな自然の中で人間と生き物が織り成す共生文化について学び、地域の環境問題を身近に感じてもらふことを目的として、子ども・大人問わず参加できる体験型学習を実施する。

亀岡生き物大学

- 亀岡生き物大学開校式【水辺の教室】
- 昆虫教室
- 沢登り教室 など

亀岡生き物大学特別講座

- ホタル教室
- 望遠鏡を作ろう！
- クリスマスリースを作ろう！ など



市民力推進課 Tel.0771-26-6100

新規

環境にやさしい公用車(EV)の導入

予算額 1,575千円
(前年度予算額 1,264千円)

《公用車経費》



本市は、世界に誇れる環境先進都市づくりを展開するとともに、2050年までに脱炭素社会の実現を目指している。老朽化した公用車をEV車両へ更新することで、環境負担の軽減を図り、引き続き、環境に配慮した公用車の管理・運行を行う。

公用車
5台更新

EV軽乗用車 2台

EV軽貨物車 3台



財産管理課 TEL0771-25-5160

充実

亀岡市ゼロエミッション計画推進事業

予算額 124,437千円
(前年度予算額 123,297千円)

《ごみ減量・資源化等推進事業経費》



資源循環型社会の形成に向け、令和4年度に改定した新たな「亀岡市ゼロエミッション計画」を着実に推進するとともに、令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律」に基づく対応として、新たにプラスチック使用製品を分別収集し資源化を推進することをはじめとした分別区分の拡大により、更なるごみの減量化・有効資源化の推進を図る。

- プラスチック製品資源化業務 **【新規】**
- プラスチック使用製品廃棄物中間処理業務
- ペットボトル中間処理業務
- 木質系粗大ごみ資源化業務
- ペットボトル分別収集業務
- 埋立てごみ中間処理業務
- ごみ減量・資源化推進事業(生ごみ堆肥化容器・処理機)補助金
- 資源ごみ集団回収報奨金
- 落ち葉等堆肥化業務 **【新規】**

(図)プラスチックの資源化工程の一例



出典元:日本容器包装リサイクル協会

資源循環推進課 TEL0771-55-5305

新規

生ごみの堆肥化による資源循環推進事業

予算額 1,488千円

《ごみ減量・資源化等推進事業経費》



これまで焼却していた調理くずなどの可燃ごみの堆肥化を推進することにより、将来的に焼却処理に依存しない廃棄物処理体制の構築を目指すなど、環境を基軸とした資源循環の仕組みづくりに取り組み、更なるごみの減量化・有効資源化を推進する。

- 亀岡市学校給食センターにおける調理くず堆肥化事業



発酵分解装置による堆肥化の様子

資源循環推進課 TEL0771-55-5305

継続

楽しく親しみやすい公園整備事業

予算額 71,750千円

(前年度予算額 405,771千円)

《公園緑地整備事業費／公園緑地整備事業費(単独)》



老朽化が進む亀岡運動公園のプール管理棟内のトイレ等の改修を計画的に進め、安全安心で市民に親しまれる公園の環境整備を図る。

また、開発行為により設置された公園について、自治会等の行う遊具の修繕等に要する経費に対し補助金を交付し、住民の公園利用促進と危険防止を図り、安全安心なまちづくりに努める。

- 亀岡運動公園プールろ過ポンプ制御盤更新工事
- 亀岡運動公園プール管理棟トイレ更新工事
- 大堰川緑地東公園駐車場整備工事
- 亀岡市開発公園整備事業補助金



都市整備課 TEL0771-25-5071

新規

緑豊かな潤いのあるまちづくり事業

～（仮称）全国都市緑化フェアin京都丹波関連事業～

予算額 31,790千円

≪公園緑地整備事業費／緑花推進経費≫

山から里・まち・公園へとつながる森林や草木、「花と緑」を“まるごと”楽しんでいただける、新たな価値観を共有できる全国都市緑化フェアについて、南丹市・京丹波町を含む2市1町と京都府が連携・協力し、京都丹波フェアとして2026年の開催を推進する。

また、同フェアの会場の一つとして予定している京都・亀岡保津川公園の実施設計業務を進める。



- （仮称）全国都市緑化フェアin京都丹波推進業務
- 京都・亀岡保津川公園実施設計業務



都市整備課 Tel.0771-25-5071

継続

「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト

予算額 6,578千円

（前年度予算額 5,355千円）

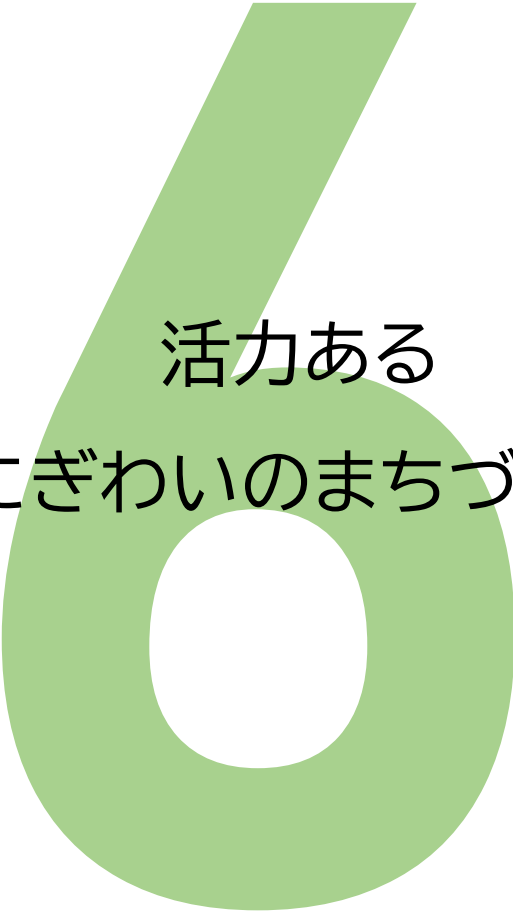
≪緑花推進経費≫

市の豊かな自然や生物多様性、地域に残る文化・歴史などの魅力ある地域資源を埋もれさせることなく、亀岡の名所づくりや原風景などの景観保全を進めるとともに、快適で潤いのある生活環境や美しい景観を創出し、住む人が誇れるまちづくりを促進する。

- ウェルカムガーデン維持管理
- 花と緑のまちづくり事業
- かめおか桜守事業
- オープンガーデンかめおか事業



都市整備課 Tel.0771-25-5071



活力ある
にぎわいのまちづくり

継続

「オープンノベーションセンター・亀岡」 整備運営事業

予算額 120,000千円
(前年度予算額 220,000千円)

《商工業振興対策経費》



亀岡市、京都先端科学大学、亀岡商工会議所との産学公連携事業として実施する京都先端科学大学亀岡キャンパスを核とした「オープンノベーションセンター・亀岡」整備・運営事業に対し補助を行い、第5次総合計画に掲げる「次代をリードする新産業を創出するまち」の推進を図る。

「オープンノベーションセンター・亀岡」整備・運営事業の概要

● 整備事業

亀岡キャンパス内に「スマートアグリハウス」の施設整備

● 運営事業

令和4年度に完成予定の施設(オープンノベーションセンター推進棟(コワーキングスペース、レンタルラボ、セミナールーム)、実装・実習棟、試験路)を核として以下の事業を推進していく。

- 1) 技術相談・指導事業
- 2) 人材育成事業(例:EV整備講座、ドローン操縦講座、DX講座など)
- 3) 研究開発支援事業
- 4) 産業技術普及・啓発事業
- 5) 企業等支援プラットフォーム事業



商工観光課 TEL0771-25-5033

継続

サンガスタジアム・イノベーション・ フィールド実証支援事業

予算額 32,096千円
(前年度予算額 35,697千円)

《商工業振興対策経費》



亀岡市域に先進的なビジネスモデルを取り入れることにより人口減少等の課題解決を図るため、「サンガスタジアム by KYOCERA」を活用し実証実験を行うベンチャー企業等を支援する。

サンガスタジアムを実証フィールドとして開放し、5Gなどの最先端設備を活用して、商業・投資・イノベーションが活発な都市を目指す。

- フィールド実証等支援金の交付(R4:4件)
- 亀岡市及び事務局による伴走支援による事業者のサポート



R4採択事業:ドローンライトショーの視認性の検証

商工観光課 TEL0771-25-5033

新規

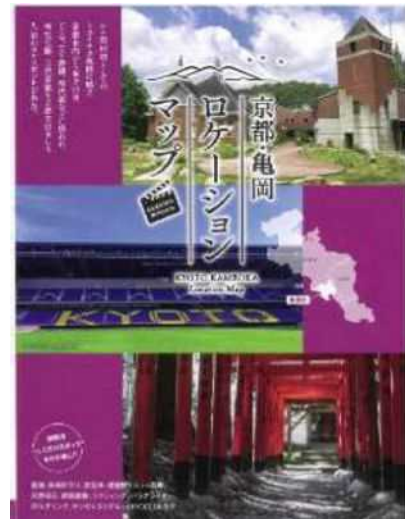
京都亀岡フィルムコミッション事業

予算額 2,000千円

《観光推進経費》

光秀公のまち、文化資源、豊かな自然等を活かしたフィルムコミッションによるシティプロモーションの推進を加速化させるため、観光関連事業者や商工業関連事業者との連携により、ロケ地としてのメディア露出拡大や知名度向上による地域のにぎわい創出を目指す。

- 京都亀岡フィルムコミッション事業補助金
- 国内外の映画・映像作品の制作支援
(ロケーションの紹介、撮影許可に関する情報提供、エキストラ手配協力等)
- ロケーション誘致活動



商工観光課 Tel.0771-25-5034

新規

トロッコ亀岡駅前ゲートウェイ化推進事業

予算額 11,324千円

《観光推進経費》

トロッコ亀岡駅南側のにぎわいづくり及び利便性の向上を図るため、駅舎内に設置している観光案内所を屋外に移設し、本市を訪れた観光客にとってのゲートウェイとして整備する。

また、公衆トイレについて観光客及び地域住民の便益施設として管理運営を行う。

- トロッコ亀岡駅観光案内所移設事業
- 付帯便益施設の管理運営



商工観光課 Tel.0771-25-5034

充 実

亀岡光秀まつり事業(第50回)

予算額 3,300千円
(前年度予算額 2,000千円)

《観光推進経費》



今日の亀岡の礎を築いた明智光秀公の遺徳を顕彰し、また市内外から観光客を呼びこむことを目的とした一大イベントとして亀岡光秀まつりを開催する。

令和5年度は、第50回目の節目を迎えることから、その内容を充実させ、観光イベントとしてさらに市内外に発信する。



- 亀岡光秀まつり事業補助金

商工観光課 Tel.0771-25-5034

充 実

有機農業推進事業

予算額 15,053千円
(前年度予算額 7,074千円)

《有機農業推進事業経費》



オーガニックビレッジ宣言に基づき、有機農業推進の着実な実行と積極的な展開を図る。

- オーガニックライフスタイルEXPO出展(9/14~16)
- 給食への有機野菜導入支援(小学校・保育所)
子どもファースト宣言!! 第1弾
- 有機JAS認証取得補助(7/10~(補助回数で変動))
- 土壌分析補助(1/2)
- 亀岡市有機農業推進協議会の事業実施への支援
(有機農業学校運営、給食への有機米導入促進等)
- 市内産畜産堆肥の施用への補助(35/100)
- 有機肥料の販売支援(土づくりセンター)



農林振興課 Tel.0771-25-5036

充 実

亀岡牛ブランド振興事業

予算額 36,919千円
(前年度予算額 36,162千円)

《畜産振興関係経費》



亀岡の豊かな自然環境の中で丁寧に育てられた「亀岡牛」の生産量・消費量の増加に繋げるため、亀岡市食肉センターの設備改修により国の衛生管理基準「HACCP(ハサップ)」に基づく、と畜処理を推進するとともに、安定供給に向けた取り組みを支援することで安全・安心の「亀岡牛」のブランド振興を強化する。

- 亀岡牛ブランド啓発事業
- 亀岡市食肉センター改修事業
- 亀岡牛安定供給体制推進助成事業
- 亀岡牛枝肉共励会開催支援事業
- 畜産衛生対策資材確保事業



農林振興課 Tel.0771-25-5035

新 規

林業機械導入支援事業

予算額 6,000千円

《林業担い手育成事業経費》



持続的な森林経営を実現するためには、高性能林業用機械等の導入が必要不可欠であり、林業環境改善のための機械導入を支援することで、森林施業や木材等の輸送効率を高め林業担い手育成を図る。

- 林業機械整備事業費補助金(補助率1/2以内)
- 支援対象予定機械
 - ① バックホウ(森林作業道作設重機)
「掘る」、「つかむ」、「積み込む」の1台3役が可能
 - ② ウッドチップパー(未利用材のチップ化、堆肥化)



切り出した木材を運ぶバックホウ

農林振興課 Tel.0771-25-5094

新規

森林資源解析等事業

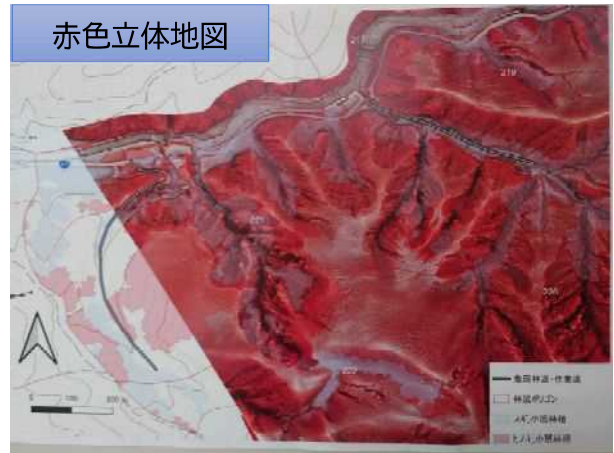
予算額 20,000千円

≪森林活用推進事業経費≫

整備の遅れた人工林において、森林経営管理制度を活用し山林所有者の同意を得る中で森林整備を円滑に進めるため、国土交通省によるレーザ測量実施区域のデータを活用し、地形や森林資源情報等を解析する。



- 対象森林面積 13,000ha
- ※国土交通省によるレーザ測量の実施区域
(市森林面積15,277haの約85%)
- 地形解析(赤色立体地図)の作成
- レーザ林相図(林相識別図、林相判読図)の作成
- 立木本数の算出
- 樹高の算出
- 材積の推定 など



農林振興課 Tel.0771-25-5094

充実

豊かな森づくり事業

予算額 25,016千円
(前年度予算額 24,948千円)

≪森林活用推進事業経費≫

森林の整備、保全及び森林資源の循環利用を推進することで、手入れ不足の森林を解消し、林業の再生による豊かな森づくりにつなげる。併せて、ウッドスタート宣言に基づく「木育誕生祝い品贈呈事業」によって、暮らしに木を取り入れることで地域材木製品の消費を増やす。



森林経営管理法に基づき、市が山林所有者に今後の経営や管理の意向確認を行い、施業効率が上がり林業が成り立つ山として面的に集積したのち、意欲と能力のある林業経営体に再委託することで、森林整備を加速させ森林保全につなげる。

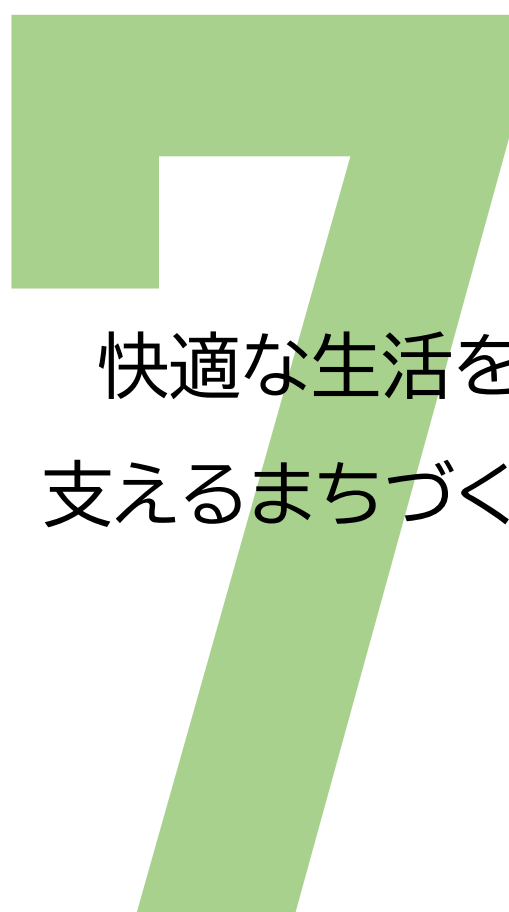
- 森林管理意向調査等
- 森林経営管理権集積計画作成

本市の未来を担う新生児の誕生を祝福し、誕生祝い品として市内の木工作家を作る木のおもちゃなどの木製品(10品目から希望する1品目を選択)及び木育書籍をプレゼントする。

- 木育誕生祝い品贈呈事業
子どもファースト宣言!! 第1弾



農林振興課 Tel.0771-25-5094



快適な生活を
支えるまちづくり

継続

安全・安心で快適な道づくり事業

予算額 387,866千円
(前年度予算額 427,087千円)

≪道路新設改良事業費／街路事業費≫

誰もが安全・快適に行き交うにぎわいとやさしさのまちづくりを支える道路網の計画的かつ効果的な整備を推進するとともに、地域課題への対応や歩行者の視点に立った道路整備を図る。

- 道路新設改良事業
 - 幹線道路網・生活道路整備
 - 【継続】保津宇津根並河線、外12路線
 - 【新規】篠ランプ9号線(洗川地区)、南金岐土田線、横井線(仮称)、外1線
 - 歩道整備及び交通安全対策
 - 【継続】湯ノ花温泉線、外7路線
 - 【新規】池尻宇津根線(通学路整備)
 - 辺地対策 【継続】湯谷区道線(第2工区)
- 街路事業
 - 【継続】馬堀停車場篠線(第2工区)、外1路線



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5074
土木管理課 Tel0771-25-5044

充実

バスの魅力再発見！ ノーマイカーDay事業他

予算額 140,483千円
(前年度予算額 134,596千円)

≪バス交通関連経費≫

市内バス事業者と連携・役割分担をしながら、市民の生活バス路線を維持確保するとともに「亀岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域に根ざした持続可能な公共交通の実現に向け、バス交通の維持や利便性の向上等を推進する。

- 市民ノーマイカーDay事業(6回予定)【継続】
- コミュニティバス運行(亀岡地区・篠地区)
- ふるさとバス運行
- 地域主体型交通に対する運行補助
(交通空白地等地域生活交通事業補助)
- 地方バス路線運行維持費補助
- 地域公共交通計画策定事業【新規】



桂川・道路交通課 Tel0771-25-5070

充 実

自然災害からみんなを守る 河川災害等防止対策事業

予算額 299,755千円
(前年度予算額 121,048千円)

≪排水路新設改良事業費／河川改良事業費／河川維持経費≫



災害の発生予防・拡大防止を目的として創設された緊急自然災害防止対策事業債を活用し、突発的豪雨による被害を改善するため河川の浚渫や改修工事を行い、快適な生活を支える河川づくりを行う。

- 排水路新設改良事業費
 - ・ 山階排水路（改良工事）
- 河川改良事業費
 - ・ 準用河川牧田川（改修工事）
- 河川維持経費
 - 河川維持作業委託（雑木伐採作業）
 - ・ 普通河川愛宕谷川
 - 河川改修工事（コンクリートブロック積等）
 - ・ 普通河川神地川、普通河川南川、普通河川音羽川、普通河川千ヶ畑川



土木管理課 Tel0771-25-5044

継 続

亀岡駅南周辺地区”歴史的景観を活かした新たなまちの顔づくり”事業

予算額 37,855千円
(前年度予算額 276,075千円)

≪景観形成事業経費／公園緑地整備事業費／道路新設改良事業費≫



「歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる新たなまちの顔づくり」のため、『歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり』、『駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり』、『住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出』の各目標を掲げ、各事業を推進する。

- 城下町エリアの歴史的なまちづくりの推進
- 道路新設改良事業費
 - ・(都)亀岡停車場三宅線修景整備
 - ・柳町線・京町線舗装改良工事
- 駅南周辺まちなみ・まちづくり構想の基本計画の事業効果分析



都市計画課 Tel0771-25-5046
都市整備課 Tel0771-25-5071
桂川・道路交通課 Tel0771-25-5074
土木管理課 Tel0771-25-5044

新規

「犬と暮らしやすいまち亀岡」推進事業

予算額 2,861千円

《広報経費/動物管理指導経費》



亀岡の新しいブランド価値と魅力の創出として、「犬と暮らしやすいまち」の確立を図る。円山応挙が描いた「犬」をシンボルアイコンとして、ペットがいるライフスタイルの拡大を見据え、調査を通じて犬の飼い方や手続き、ルール・マナーなどを啓発し、応挙と同様に犬好きな人たちが集まる「犬と暮らしやすいまち」、そして「人も暮らしやすいまち」を目指す。

- ローカルプレス(地元紙)の発行
- 犬と暮らしやすいまちに向けたニーズ調査の実施



広報プロモーション課 TEL0771-25-5003 / 環境政策課 TEL0771-25-5023

継続

安全なわが家の耐震化促進事業

予算額 12,060千円

(前年度予算額 12,060千円)

《安全なわが家の耐震化促進事業費》



地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震化を促進する各種助成事業を実施する。

- 木造住宅耐震診断士派遣制度
- 木造住宅耐震改修事業費補助金
 - ・ 耐震改修 1戸あたり最大100万円
 - ・ 簡易耐震改修 1戸あたり最大40万円
 - ・ 耐震シェルター設置 1戸あたり最大30万円



建築住宅課 TEL0771-25-5048

充 実

デジタルマーケティング推進事業

予算額 10,416千円

(前年度予算額 12,000千円)

《広報経費》



ユーザーの属性に合わせて詳細なターゲット設定ができる各種デジタル広告やプレスリリースを戦略的に配信することで、亀岡市の認知度を向上させ、ブランド価値向上につなげる。

ホームページアクセス履歴・広告接触者情報や認知度調査などのデータをもとに事業を実施・改善するPDCAモデルを構築する。

- マーケティング思考をもとに施策のターゲットを選定し、媒体と手法を最適化させて効率を向上させるとともに、事業効果の拡大を図る。
- デジタルマーケティング研修や各種事業への具体的なアドバイスを通じ、施策への反映やノウハウの蓄積を図る。



広報プロモーション課 TEL0771-25-5003



効率的で持続可能な
行財政運営

充 実

SDGs未来都市亀岡推進事業

予算額 2,714千円
(前年度予算額 2,300千円)

《SDGs推進経費》

「亀岡市SDGs未来都市計画」の達成に向けて、市民の皆様や各事業者、関係団体等と一緒に考える機会や情報を共有できる場を持つことで、さらなるSDGsの取り組みを推進する。

- SDGsをテーマとしたアイデアソン事業
- 市内事業者向けSDGsセミナーの実施
- SDGs推進本部および幹事会の運用による「亀岡市SDGs未来都市計画」の進捗管理
- 特設ホームページの充実
- Pepper(ペッパー)を活用したSDGs教育プログラム開発事業
- 官民連携・広域連携の促進
- 広報紙等の活用によるSDGsの発信



SDGs創生課 TEL0771-56-8520

継 続

議会活動経費

予算額 21,834千円
(前年度予算額 24,446千円)

《議会活動経費》

二元代表制としての役割を果たすため、「亀岡市議会基本条例」に基づき、積極的に議会活動を進め、市民と共に歩む議会を目指している。また、議会の活性化を一層進めることにより、より市民にとって開かれた身近な議会を実現し、市政の問題解決に取り組み、市民福祉の増進に寄与する。

- 通年議会による本会議・各委員会での審議・審査の実施
- 議会だより、インターネット中継、わがまちトーク等による広報広聴及び調査研究活動の実施
- タブレット端末の活用によるペーパーレスの推進及び緊急時を含めたリモート会議の実施



議会事務局 TEL0771-25-5051

充 実

DX推進事業

予算額 8,900千円

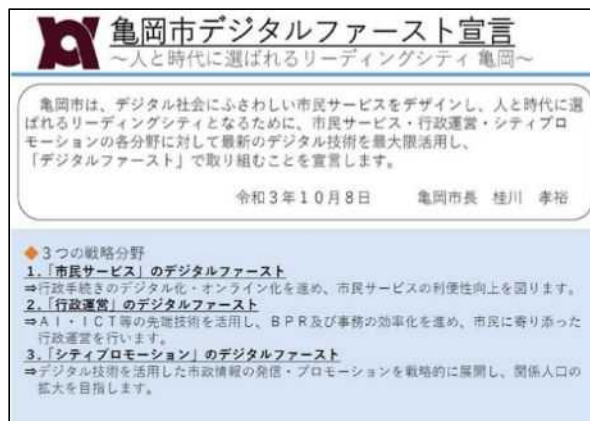
(前年度予算額 5,388千円)

《電算管理経費／情報化推進経費》



亀岡市デジタルファースト宣言に基づき、市民サービス・行政運営・シティプロモーションの各分野に対して「デジタルファースト」で取り組み、自治体DXを推進する。

- 『かめおか手続ナビ』『窓口予約サービス』などの提供
⇒引越しなどのライフイベントごとに、簡単な質問に答えていくだけで、自分に必要な手続きや持ち物がわかる手続き案内サービスや、窓口への来庁時間の予約サービスなどWEB上で可能な各種サービスを提供する。
- 『行政手続のデジタル化・オンライン化』の推進
⇒びったりサービス(マイナポータル)と汎用型電子申請サービスで、スマートフォンなどから申請可能な手続きを拡充する。
⇒デジタル窓口の試行運用開始(タブレット配備)
- スマートフォン体験教室の開催



情報政策課 Tel.0771-55-9454

充 実

マイナンバーカード交付等推進事業

予算額 40,325千円

(前年度予算額 20,689千円)

《戸籍住民基本台帳経費》



個人番号カード(マイナンバーカード)の普及率を大きく向上させるため、マイナンバーカードの申請及び交付を推進する。

- マイナンバーカードの申請を推進する業務
出張申請窓口(大型商業施設等)の充実
休日申請窓口(市役所)の充実
申請窓口(市内の郵便局9局)の充実
- マイナンバーカードの交付を推進する業務
休日交付窓口の充実
夜間交付窓口の充実



市民課 Tel.0771-25-5019

充 実

ふるさと納税推進事業

予算額 4,549,133千円

(前年度予算額 2,730,954千円)

《ふるさと力向上経費》



ふるさと納税制度を活用して本市の魅力をPRすることで、寄附金の増額を図り、本市財源を確保するとともに、返礼品として地元産品・サービス等を活用し、本市の産業振興・地域経済の活性化につなげる。

- 寄附目標額:30億円
- ふるさと納税による寄附の受付及びワンストップ特例申請受付業務
- ポータルサイト(10サイト)を活用した情報発信及び寄附者の利便性向上
- 市内事業者等と連携した本市の地域資源を活用した魅力ある返礼品開発
- 京都・亀岡ふるさと力向上基金への寄附金の積立



亀岡市ふるさと納税のご案内

SDGs創生課 TEL0771-25-5060

特別会計

継 続

国民健康保険事業(特別会計)

予算額 9,870,000千円

(前年度予算額 9,370,000千円)



亀岡市国民健康保険に加入する人が病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、医療保険事業の運営を行う。

京都府国民健康保険運営方針に基づき算定された、事業納付金や標準保険料率をもとに、保険料を賦課徴収し、納付金を納付するなどの事業運営を行う。

また、国民健康保険加入者の健康保険証の発行、医療費の給付、保健事業などの事務を行う。

- 国民健康保険への加入、脱退手続き
- 国民健康保険料の賦課決定及び徴収
- 医療費の給付
- 療養費等の申請受付、支給事務
- 被保険者の健康の保持増進のための保健事業 など

令和5年度施策の充実

- 出産育児一時金の支給額引き上げ



保険医療課 Tel.0771-25-5025

継 続

休日診療事業(特別会計)

予算額 21,500千円

(前年度予算額 22,800千円)



市民の安全・安心を確保することを目的に、ほとんどの開業医が休診する日曜日、祝日、振替休日、年末年始に、緊急に医療を必要とする市民に対応するため、休日診療所を開設し、内科及び小児科の応急的な診療を行う。

年間診療日数 : 令和5年度 72日

診療科目 : 内科、小児科

出務体制 : 医師、薬剤師、看護師、医療事務員、事務職員

診療体制 : 1診療体制を基本にゴールデンウィーク、

年末年始は2診療体制で診察

インフルエンザ等の流行期に、患者の急増が

予測される場合は、2診療体制で診察を実施



亀岡市保健センター内 1階

健康増進課 Tel.0771-23-5636

継続

介護保険事業(特別会計)

予算額 7,653,000千円

(前年度予算額 7,284,000千円)



急速な高齢社会の進展に伴い、誰もが直面する「介護」を社会全体で支える仕組みである介護保険事業の円滑な実施に努める。また、高齢者が住みなれた自宅や地域で安心して暮らしていけるように、一人ひとりの状況に応じた介護予防事業を推進するとともに、地域における高齢期の包括的・継続的なマネジメントを推進する。

- 介護給付事業
 - ・ 介護サービス給付事業
 - ・ 介護予防サービス給付事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業
 - ・ 介護予防・生活支援サービス事業
 - ・ 一般介護予防事業
- 包括的支援事業
 - ・ 地域包括支援センター運営事業
 - ・ 生活支援体制整備事業
- 任意事業
 - ・ 介護給付等費用適正化事業
 - ・ 家族介護支援事業
 - ・ 地域自立生活支援事業



介護予防拠点活動支援事業(フレイル特化型)モデル事業の風景

高齢福祉課 TEL0771-25-5032

継続

後期高齢者医療事業(特別会計)

予算額 1,394,100千円

(前年度予算額 1,361,600千円)



75歳以上(一定の障がいがあると認定された65歳以上75歳未満の人を含む)の高齢者が将来にわたり安心して必要な医療が受けられるようにするため、後期高齢者医療制度の安定的な運営に努める。

制度の運営は、京都府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が行っている。

【広域連合が行うこと】

- 被保険者の認定
- 被保険者証の発行
- 保険料の決定
- 医療を受けたときの給付 など

【市が行うこと】

- 被保険者証等の引き渡し
- 保険料の徴収事務及び相談業務
- 広域連合へ保険料や医療費負担分等の納付
- 葬祭費、療養費、高額療養費、傷病手当金等の申請受付 など



保険医療課 TEL0771-25-5026

継続

土地取得事業(特別会計)

予算額 900千円
(前年度予算額 1,200千円)



地域のにぎわいと交流・憩いの場の創出と、アユモドキの生息環境や良好な自然環境を保全し、自然と共生する総合公園として京都・亀岡保津川公園整備を推進するために先行取得した土地の一般会計買戻しによる譲渡を行う。

- 先行取得した土地の一般会計買戻しによる譲渡



都市整備課 Tel0771-25-5071

継続

おいしい水を安定的に供給する水道(特別会計)

予算額 3,245,900千円
(前年度予算額 3,212,400千円)



市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のため、水道施設の長寿命化や規模の適正化を図るとともに、計画的かつ効率的な施設の整備及び維持管理を推進する。

- 老朽管の耐震化率向上に向け、水道施設の計画的な更新を実施
 - ・水道老朽管耐震化工事(3箇所)
- 水道用水供給事業の安定的な運営



上下水道部各課 Tel0771-56-9282

継続

水質保全と快適な暮らしを築く下水道 (特別会計)

予算額 5,413,600千円
(前年度予算額 5,214,100千円)



下水道の整備により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図り、快適で住みよいまちを守り続けるため、下水道施設の適正な維持管理及び改築更新等を推進する。

- 年谷浄化センターの改築更新工事や下水道施設の統合に向けた取組、雨水排水幹線の整備を促進
 - ・ 年谷浄化センター改築更新工事
(沈砂池ポンプ設備、消毒設備、用水設備)
 - ・ 公共下水道統合実施設計
(公共下水道と農業集落排水(西部3地区)との接続)
 - ・ 犬飼川左岸雨水幹線整備事業



上下水道部各課 Tel0771-56-9282

継続

市立病院事業(特別会計)

予算額 3,865,615千円
(前年度予算額 3,743,000千円)



公共性と経済性を考慮し、効率的な病院経営を行うとともに、公立病院に求められる高度で良質な医療の提供と各医療機関との地域連携により、市民に信頼される市立病院を目指す。

主な目標

- 令和3年度に策定した新中期計画により、進捗状況を逐次分析する中で、持続可能な病院運営に努めているが、令和5年度中には、今後令和9年度までの経営収支状況、特に資金面における収支状況を見据えた「経営強化プラン」を策定し、経営強化に総合的に取り組む。
- 令和5年4月に訪問看護ステーションを開設し、今後、高齢化に伴い増加が予想される在宅医療に対応する。
- 医師及び医療スタッフの確保を重点課題とした診療体制の充実、今後増加が予想される在宅医療に対応するための基盤づくり、新型コロナウイルスワクチン接種やコロナ患者受入れ等、公立病院としての役割を果たし、引き続き高度で良質な医療の提供を図る。
- 各医療機関との医療連携を進めるとともに、医師会との病診連携懇話会の開催、病院広報誌の発行、フェイスブックやホームページによる情報発信等、市立病院のPRを積極的に行う。

病床数	一般病床100床
診療科目	消化器内科・循環器内科・糖尿病内科・一般内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・麻酔科・皮膚科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科(その他標榜科目 放射線科)
年間患者数	入院 28,182人 外来 63,180人 を見込む
一日平均患者数	入院 77人 外来 260人 を見込む
建設改良費	マンモグラフィ、白内障手術装置、外科用内視鏡システム、外科用イメージ等更新

病院総務課 Tel0771-29-2621